

キャッシュレス社会の現状と課題 —日本と中国の比較—

2019年 **参加無料** 14:00～16:00
3月11日(月) [会場] 熊本学園大学
本館4階第2会議室

定員：先着20名

日本もオリンピックを見据えて、インバウンド対策としてキャッシュレスを進めている。熊本も近年その取り組みが急ピッチだが、まだまだ課題の方が多く思われる。お札と小銭が手放せない。アジア諸国ではキャッシュレスは進んでいる。特に中国のキャッシュレス化は目覚ましい。ではどこがどう違うのか。中国はキャッシュレス手段の競争に新しいシステムを導入した。それは何を意味するのか。キャッシュレス社会とはどのようなものなのか。日本には、熊本にはこれから何が必要か。熊本の事情にも詳しい唐波さんを囲んでキャッシュレス社会の最新情報について勉強しませんか。

プログラム

1. 中国の現状と課題について【60分】

とうは

講演者：唐波 氏（銀聯国際日本支社代表）

せっこう ねいは

中国浙江省 寧波市出身。

中国杭州市政府職員として勤務した後、

2003年に島根県松江市役所の国際交流員と

して日本へ。JTB株式会社のインバウンド

担当を経て、2007年から現職。

2. ディスカッション【60分】

参加者と唐波氏を交えてのフリーディス
カッションです。

コーディネーター：坂本 正
(熊本学園大学
シニア客員教授)

この研究会は(株)熊本放送、(株)古荘本店のご協力をいただいております。

参加を希望される方は、FAX・E-mailのどちらかにより事前の申し込みをお願いいたします。

申し込みの際は、ご氏名・ご所属・ご連絡先を明記ください。申込締切 3月6日(水)

※申込受付後、受講ハガキ等はお送りしておりません。直接会場へお越しください。

※駐車場がございませんので、公共の交通機関のご利用をお願い申し上げます。

<申し込み・問い合わせ先>

熊本学園大学附属産業経営研究所（担当：学術文化課）

FAX：096-364-5201(専用)

E-mail：sankei@kumagaku.ac.jp

〒862-8680 熊本市中央区大江2丁目5-1

TEL：096-364-5161(代表)